

教員名

辻本 千春

企画名: 兵庫県印刷工業組合×ファミリア×流通科学大学  
産学連携プロジェクト

商品開発型  
情報分析型  
企業

★辻本千春ゼミ発表テーマ:『兵庫県印刷工業組合×ファミリアとの産学連携プロジェクト』～印刷物とcolor of time～  
与えられた2つの課題のうち、テーマは「消費者に対するアプローチ方法を考える」を選び、サブテーマはファミリアの本店内にある「color of time」への誘導方法をどのようにすればよいかを選んだ。

- 課題 2
- テーマ  
神戸本店の消費者に対してのアプローチ方法を考える  
(告知・企画内容等手法の充実に回り、新規とリピートによる集客に繋げる)
  - サブテーマ  
メインテーマのもと、以下の2つのサブテーマの中から、各チームで  
取り組むテーマを決定する。(1つ以上)
- (1) 「color of time」の利益増加に導く提案 ※「color of time」本店内のレストラン  
(本店へ買い物に来るお客様をどのようにレストランに誘導できるか)
- (2) 「PEONY (ピオニー)」の認知度向上に導く提案 ※「PEONY (ピオニー)」がデザインされた  
(プレマのお客様にどのようにリラクゼーションの魅力を伝えるか)
- ➕ 若年層の消費者の対してのアプローチ



### 企画・活動概要

このプログラムは、兵庫県印刷工業組合設立60周年記念事業として、株式会社ファミリアの協力のもと流通科学大学の学生と一緒に課題解決を行うプロジェクトであった。ゼミの女子2名が中心となり計4名ですすめた。本来は、観光まちづくりのゼミではあるが、マーケットの基本の考え方は同じなので力を入れて研究させた。その結果、高い評価を得ることができた。

アンケート調査も実施し、客観的なデータをそろえて発表したが、今回のプロジェクトは、ファミリアの商品だけではなく販売に関わる印刷や、さらに情報発信についての実際を研究する機会を与えていただき、商品販売やサービスのマーケティング手法も学びながら解決方法を考えることができた。

- ★6月19日(水)プロジェクト説明会(於: 流通科学大学)
- ★7月3日(水)オリエンテーション(於: ファミリア神戸本社&神戸本店)
- ★7月17日(水)印刷工業組合勉強会「アプリ」(於: 流通科学大学)
- ★8月27日(火)大日本印刷株式会社勉強会、会社見学会
- ★10月9日(水)プロジェクト発表者質問会(於: 流通科学大学)
- ★11月20日(水)プロジェクト中間発表会(於: 流通科学大学)
- ★12月11日(水)産学連携プロジェクト発表会(於: 流通科学大学)



写真:ファミリア神戸本社

### 経緯・背景・目的

このプロジェクトの目標のひとつに「若者の感性による印刷業界の活性化」を目指し、学生のキャリアにおける印刷業界のイメージアップもあった。

そのために今回のプロジェクトは、ファミリアの商品だけではなく販売に関わる印刷や、さらにアプリについての学ぶ機会を与えていただき、企業の課題解決手法についても考えることができた。

選んだ課題は「本店内レストラン・color of timeの利益増加に導く提案」で、ファミリア本店内にあるレストランの知名度をいかに上げて、消費につなげるかをアンケート調査も実施し、客観的なデータに基づいて研究した。

### 取り組む課題

まず、学生たちは少子高齢化で購入人口が減少するのではないかという疑問を解決するためにファミリアに対する認知度を調べるために学園都市駅とインターネットで180名のアンケートを取った。



### 本学(学生)の役割



本学からは2チームが参加しており、学生たちは7回に及ぶ現地視察や印刷業の勉強会、SNSやアプリを活用したマーケティング手法など大学で学ぶことができない新鮮な講義や視察をすることで、印刷業界やベビー服を含むファッション業界についても学んだ。

### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

今回は3チームの発表であったが、ほかのチームとは違った切り口でファミリアの岡崎社長からもおほめの言葉をいただき学生も大きな自信になった。それまでのゼミでの社会共創プログラムへの取り組み経験も踏まえアンケート実施やデータ分析の結果が課題解決につながったと思える。



### 指導教員および関係者の紹介

この度は、株式会社ファミリアの岡崎忠彦社長をはじめ株式会社ファミリアの多くの皆様、兵庫県印刷工業組合及び設立60周年記念事業産学連携プロジェクト事務局の皆様には大変お世話になりました。学生たちも課題解決型プロジェクトの楽しさとむつかしさを企業の皆様とともに経験して学んだと思います。学生たちの今後の発展を見守りたいと思います。

《指導教官》

人間社会学部  
観光学科  
教授

辻本 千春  
専門: 観光マネジメント  
観光まちづくり

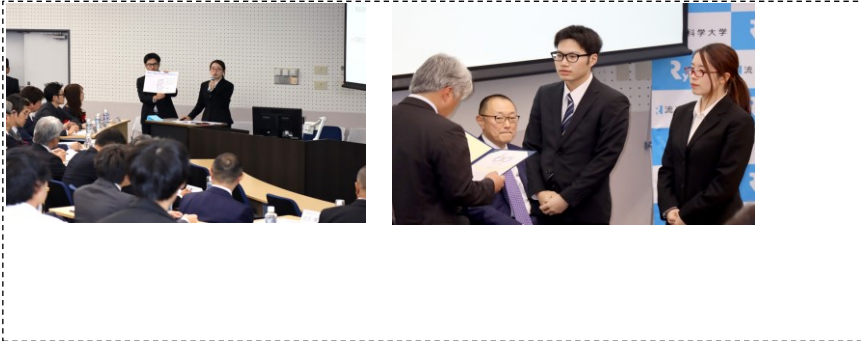


教員名

辻本乃理子

企画名 兵庫県印刷工業組合設立60周年記念事業産学連携プロジェクト

商業活性化型  
イベント企画型  
企業



### 企画・活動概要

兵庫県印刷工業組合設立60周年記念事業の一環として、「若者の感性による印刷業界の活性化」を目指し、兵庫県印刷工業組合が企画・主催、兵庫県印刷工業組合・(株)ファミリア・流通科学大学による産学連携プロジェクト。

発表までの取り組み	
6月～8月	9月～11月   12月
①テーマ・課題の実行 1. オリエンテーション (8月19日、8月20日、7月28日) ・企画案説明・活動スケジュールの理解(関係者全員集合) ・ファミリアの集客戦略・課題(テーマ)内容について (Part1) ・ファミリアの集客戦略・課題(テーマ)内容について (Part2) 2. 質疑応答(集客戦略・集客戦略)	②印刷業界知識の理解 (7月17日、8月27日) 1. 印刷機が作り出す表現力とスマートフォンを活用したデジタル集客プロモーションについて知る 2. 印刷業界を知る(印刷産業の変化) 3. 横(ペーパー)を扱う印刷事業分野について



### 経緯・背景・目的

本プロジェクトの開催を知った教員が、ゼミ生に呼びかけたところ、課題に興味を持った有志学生が自ら参加を決定した。参加の目的は、企業が提示する課題について、これまでの学びを生かす提案をするとともにさらなる学びと能力の向上のために参加した。

### 取り組む課題

取り組むテーマ2点のうち、テーマ1「若年層の消費者に対するアプローチ方法を考える」の課題2「マタニティセミナー参加後の購入に導く提案」に取り組んだ。

#### 発表課題 (ファミリア種から出題)

- 【テーマ1】  
若年層の消費者に対してのアプローチ方法を考える  
 《課題1》新商品のフレマ向けにママの胎動感知器(産婦)までファミリアを知らない若いママにどのように宣伝するか?  
 《課題2》マタニティセミナー参加後の購入に導く提案  
 無料セミナーに参加した若いママに産産準備をファミリアで提供したくはどうか?
- 【テーマ2】  
神戸本店の消費者に対してのアプローチ方法を考える  
 《課題1》Color of Timeの利益増加に導く提案  
 本店へ買い物に来るお客様をどのようにレストランに誘導できるか  
 《課題2》Color of Timeの認知度向上に導く提案  
 フレマのお客様にどのようにリラクゼーションの魅力を伝えるか

### 本学(学生)の役割

流通科学大学の参加チーム(参加者)が、印刷会社の営業の立場となり、得意先が抱える課題の解決及び顧客の確保のために、企画・提案する。

### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

「印刷業界賞」受賞。2019年12月12日付神戸新聞に最終プレゼンテーション会の模様を掲載。学生が身につけた能力としては、これまでの集大成として依頼者のニーズにこたえる企画・提案を行うために必要な能力(現状分析、市場調査、企画提案の根拠資料の作成、試作品の作成など)を磨き、プレゼンテーションおよびコミュニケーション能力を向上させた。



### 指導教員および関係者の紹介

協力企業: 兵庫県印刷工業組合、株式会社ファミリア  
指導教員: 人間社会学部人間社会学科准教授 辻本乃理子  
参加学生: 卒業研究(4年生)高田凌平、林依吹